

CFA Japan Club Meeting Minutes -議事録-

■開催期日

2024年7月21日(日) 13:00-15:00

■開催場所

パンパシフィック横浜ベイホテル東急 B1F プリンス

時刻：13:00～15:00

■出席クラブ 42（委任状及び棄権を含む）

BLUE SKY CC / SOMETHING HEARTS CF / THE JAPAN DANCING CC / TOKYO MIDTOWN CC / FUKUOKA CF / TOY CC / KOTO NEKO CLUB
STARBOARD CC / TOKYO CF / MICINA CF / NYANKO YOKOHAMA / NAGASAKI CF / ROYAL ALL BREED CC / AMERIDREAM CC
INFINITY CF / ANCIENT CAPITAL CS / JAPAN SINGAPURA CC / DELIGHT CF / TAKARAZUKA CF / KYOTO SKYLARK CC
YOKOHAMA BAY CF / FRASER VALLEY ALL BREED CC / VERTU BLANC CC / COMODO CF / NISHI NIHON CC / NANTAN CAT DOM CLUB
EVER GREEN CC / NORTH LAND CF / CAT WALKERS JAPAN / MT.FUJI TOKYO CC / INDEPENDENT CC / GANBA KOBE CC
OSAKA NORWEGIAN FOREST CC / TERRESTRIAL CC / AMERICAN SHORTHAIR CLUB JAPAN / JAPAN SHADED FANCIERS / NAVY BLUE CC
ABU SIMBEL CC / REX ORIENTAL CC / JAPAN TONKINESE CC / POCAHONTAS CC / JAPAN CF / CATULE CC

※2024年7月時点でのクラブ総数 78 に対し半数を超える出席がありましたので
本クラブミーティングの決議は有効となります。

議決権者からの承認を以て以下を専任

議長：<前半>早田由貴子

書記：福本 / 岡田

※リジョン規約に基づき前年度会計報告 及び 承認後、議長は新ディレクタ 田村朱紀に交代しました。

(進行：若松誠)

■総会議案 及び 承認可否

1. 令和4(2022)年度 会計報告 - 承認可否 - 《満場一致で承認》
2. 令和5(2023)年度 会計報告 - 承認可否 - 《満場一致で承認》
3. 令和6(2024)年度 リジョン新役員報告
4. 令和6(2024)年度 事業計画案報告
5. 令和6(2024)年度 予算計画案報告
6. クラブからの議案提示

リジョナルショーでのマイケージ手数料徴収の徹底について

- 《マイケージ手数料徴収の徹底》

リジョナルショーのエントリーフィー値下げについて

- 《審議継続》

会計業務の進め方について

- 《会計担当者の負担軽減を加味しながら対応していく》

議決権を伴うオンラインクラブミーティングの開催について

- 承認可否 - 《満場一致で承認》

リジョン規約の改正について

- 《審議継続》

※審議内容は次頁以降 進行内容を参照下さい。

1. 令和4(2022)年度 会計報告 及び 承認可否

<発言者一覧>

早:早田(議長) / 北:北尾(会計) / 福:福本 / 稲:稲富 / 永:永山 / 田:田村 / 高:高瀬 / 若:若松(進行)

北: 税理士の報酬は昨年度5月から今年度4月までの一契約で6月に支払っているので一昨年度には計上されていない。2022年度のもは2023年度に計上され、2023年度のもは2024年度に計上される予定。2022年度の雑費及び旅費については、アワードパーティが暫く開催されておらず2022年度が久しぶりの開催だった事もあり旅費等は規約に従って支払った。2022年度が特に多いというわけではない。ラリーの交通費については和田さんにラセルさんの送り迎えを成田まで2回(含高速代)、ラリーのホテル代立替分を精算した。1回5000円以上の食事代は和田さんの持出し-7~8万円-になった。

福: 旅費・交通費の内訳が知りたい。高額の場合はクラブに伝えてもよかったのではないかな。

北: ショーが3回、アワードパーティもあったのでアワードバンケットの交通費補助として小島さんの打ち合わせに2万円、バンケットの補助等で福田さんに交通費、ロイヤルカナンとのショー打ち合わせに小島さん及びセクレタリ(小島たか子さん)に片道交通費のみ支払った。1月のショーについてもセクレタリとして交通費、4月については写真家であるシャナンの撮影が翌日に延びたため宿泊代も一人分支払った。アワードバンケットの雑給については当日食事を楽しめない人に会費分の支払い(12人)をしている。9月のリジョナルショーではエキジビション解説のお礼、エキジビションに協力して下さった方々への交通費。雑給は4月のリジョナルショーで設営と撤収の作業費として支払ったものもある。シャナンの撮影受付の費用も5月末に支払った。

稲: 講師料について。クラーキングスクールを2回開催しているが、インストラクターへの講師代は理解出来るが、そもそもアシスタントは勉強なので、今まで講師代は支払われたことはない。

北: 1月に東京、3月に大阪、インストラクターの岡田さんに2万、アシスタントの宗村さんには資料作成も含めたお礼として1万、それぞれ2回払った。

稲: これまではアシスタントには一切払っていなかった。

早: 資料作成する人には一銭も出す必要はないということか。

稲: 資料は経費であり、個人に対してのお礼ではない。

早: 今後そういう風にした方がいいということか。

稲: 今までずっとそうだった。

永: 経費は経費として資料作成費を宗村さん(への謝礼)という名目で挙げるのではなく・・・

早: 既に会計ではそうしてしまったので直せと言うことか。

田: なぜそうなってしまったか。

早: ディレクターが決めることではないか。

永: 親方が変わればルールも変わるのでは。

早: 今後新ディレクターがどう判断するかはわからないが、前例がというなら前例がない場合もあるわけで、それはあくまでディレクター判断ということになるのでは。それが違法であるということか。それともこの帳面を直せと言うことか。

稲: 前例に乗っ取っていなくてもディレクターが変わったらディレクターの好きにしてよいと言うわけではない。

早: いや、好きにして終わりではない。

稲: アシスタントクラーク費は出ない。ディレクターが良いというから出しますというのと同じだと思う。ライセンスがない人は勉強として自費で行っていただくというのがCFA的ではないのか。

永: 今のこれは違うのでは。

早: 宗村さんは習いに行ったわけではない。

稲：習いに行ったのですよ。アシスタントマスタークラークインストラクターですから。

永：クラークとして勉強の段取りをつけて自分もアシスタントであったということでは。

稲：それは今までみんなやってきたこと。私も4回やった。アシスタントなのでお金はもらえない。アシスタントマスタークラークがお金もらえないのとアシスタントクラークがお金もらえないのは同じこと。そこで「いいじゃない出してあげる」としてしまおうとおかしくなってしまうので、そういうのはやめませんかという話であって非難しているわけではない。

早：今後は一切、資料作成した人には何ら支払いはしないと。

稲：資料作成は資料作成、アシスタントマスタークラークインストラクターのお礼とは違う。

早：今後資料作成はボランティアでよいと。

稲：資料作成費は経費ですよ。交通費を補填するかどうかは皆さんで決めて支払うのは良いと思う。今までアシスタントクラークにお金払ってましたか？アシスタントマスタークラークにお金払ってましたか？

早：それはジャパン規約に載っているんですか。

稲：CFAのルールですよ。アシスタントは「お勉強」ですよという制度でやってきた中で「私がディレクターだからお金出す」はやっちゃダメ。

田：ジャッジの賃金がクラスによって違うのと同じだと思う。

早：じゃあどうしたらいいのか。お返しした方がいいのか。私が自費で。

稲：払う前に今までどうしていたのか事前に確認した方がよかった。

高：宗村さんのそれはどういうアシスタントなのですか。

稲：マスタークラークインストラクターは、皆さんの前で「クラークになったらこういうことをやるんですよ。CFAとはこういうものですよ」という講師であり、アシスタントはライセンス保持者(マスタークラークインストラクター)の元で同じことをやる。

田：インストラクターの資格を取るための「お勉強」。

北：宗村さんは当初単独でやるという話があったが出来ないということで岡田さんに入ってもらった。

稲：シングルで出来ない＝謝礼支払い対象ではないということ。

若：論点としては、本来無報酬であるべきアシスタントマスタークラークインストラクターに謝礼が支払われてしまった。ライセンスの無いアシスタントクラークは無報酬であるのと同様、アシスタントマスタークラークインストラクターもそうあるべきなのに「今回は払いましょう」「今回は払いません」というのはいかななものか。実際払ってしまったのはしかたがないとして今後あらためてアシスタントは無報酬としてよいか、という事。

<議決可否>

2022年度会計承認の決をとります。満場一致で承認されました。

2. 令和5(2023)年度 会計報告 及び 承認可否

<発言者一覧>

早:早田(議長) / 北:北尾(会計) / 福:福本 / 稲:稲富 / 永:永山 / 田:田村 / 高:高瀬 / 若:若松(進行)

北：2023年度において帳面上は664円の黒字ということになったが、従来ロイヤルカナンからの企業協賛金をリジョナルショーやアワードパーティごとに請求書を上げ、それに対して協賛金を出していただく形になっていた。この運用についてロイヤルカナン側から、2024年1月以降は1年分の協賛金を纏めて請求いただきCFAの活動に対する1年間分の協賛金としたいという提案をいただいた。協賛金としての年間総額は変わらないが、その流れで2024年1月に110万円が年間協賛金として入金された。これをショーごとに分けようかとも思ったが、名目としては年間協賛

金ということなので運営費とした。そのため 2023 年のアワードパーティと 10 月のショーまでは個々の協賛金として計上しているが、2024 年 1 月及び 4 月については計上していない。今回のアワードと 11 月のジャパンキャットショーの分は既にいただいたので、2023 年度分としては 50 万円ほど例年よりも赤字になっている。赤字理由は、必要経費であるロゼット代について、現在円安でドルが非常に高いためにによるもの。また海外からの招請ジャッジのドル建て飛行機代も非常に高額になっている中、出来る限り詰めたけれど 50 万円くらいの赤字となった。2023 年度の企業協賛金収入については先ほど申し上げた通り。会計規約に則って計上しているのであればアワードパーティの旅費・交通費・雑給が高額すぎると質問があるが、昨年のアワードパーティは急遽品川プリンスホテルでの開催になり、そのために北海道から後藤さんにご足労いただいて調整等していただいた。その際の旅費・交通費がかかっているため例年よりも高くなっている。旅費・交通費としてお支払いしたのは後藤さんだけ。雑給については同じようにアワードパーティで食事でも満足に取ることができない司会やそういう方たちの分として一人 13000 円の参加費でしたのでこの分を補填している。例年に比べてと言われたが今お話ししたとおり。次年度の予算案については後ほど新しいディレクターの方からご説明があると思う。

若：ありがとうございます。2023 年度会計報告、ご質問があればいただきます。よろしいでしょうか。

<議決可否>

2023 年度会計承認の決をとります。満場一致で承認されました。

早田：会計報告承認が終わった。これがディレクターとしての最後の仕事。ディレクターは田村さんになりましたので、新リジョンの説明とスタッフの説明および議長を引継ぐ。皆さんよろしくお願ひいたします。今までありがとうございました。

若松：会計報告が承認されましたので、ジャパンリジョンの規約に則りここから議長を交代させていただきます。

3. 令和 6(2024)年度 リジョン新役員報告

<発言者一覧>

田：田村(議長)

田：皆様ご苦勞様です。本年度から CFA ジャパンリジョンでディレクターを務めさせていただくことになりました田村です。皆様よろしくお願ひします。まずリジョンの役員、スタッフを紹介させていただきます。

ディレクター：田村 朱紀

セクレタリー：若松 誠

会計：河野 悦子 / 武藤 桂子

ショースケジューラー：谷口 久美子

ソーシャルメディア：濱保 衣都子

広報：田村 朱紀(兼務)

ウェブサイト運営：若松 誠(兼務) / 田村 朱紀(兼務)

会計監査：津田 順子 / 松下 幸代

相談役：前田 E. 実

今回会計は財務及び入金関係、出納管理の二名体制でやらせていただく。ソーシャルメディアがかなり活発化しているためソーシャルメディア担当を新設した。CFA ジャパンには今までメディア等の取材対応や外部企業等との会議打ち合わせを担当する広報というポジションが無かったので新設した。今まで外注(読売情報)していたウェブサイトの運用を内部運用とする。今まで永山さんの息子さんの輝政さんにやっていたいた CFA 本部主導になるプロテストコミティーリエゾンだが仕事の都合上続投不可との事で、別途新たな方に依頼する。決定次第ウェブサイトへ掲載する。

4. 令和 6(2024)年度 事業計画案

<発言者一覧>

田:田村(議長)

資料配布を検討したが仮部分もあり口頭での案内とする。後日クラブ宛メールで別途案内させていただきます。

・ジャパンキャットショー

今回のアワードが終わった後 11 月にロイヤルカナン主催ジャパンキャットショーが開催される。開催日は 11 月 24 日。TICA と同会場で開催となる事からボードミーティングで事前承認が必要である事、そこからショーライセンス申請をする事を逆算すると日程的に厳しい事から、当該ショーのジャッジは私の一存で決めさせていただいた。予めご了承いただきたい。こちらについても別途クラブ宛メールで案内させていただきます。ジャパンキャットショーは前年と開催フロアが変わり会場が広くなった。ロイヤルカナンにも試行錯誤いただきエキジビターがハッピーに楽しくショーを楽しんでいただけるかをリジョンスタッフを交えながら協議している。改めて各クラブの皆様にも是非ご協力いただきたい。

・クラーキングスクール

前半でも議題に上がったクラーキングスクールについては関東、関西それぞれで開催するのは経費も係る事から、現在オンラインでの開催を検討している。開催については別途クラーリエゾンの岡田さんと相談のうえ詰めていきたい。現時点では仮のイベントとして計画中。

・2025 年 1 月リジョナルショー

2025 年 1 月のリジョナルショーは浅草 台東館での開催を予定している。11 月 24 日開催のジャパンキャットショーから時間も無く、計画としては同時並行で進めていく。ジャッジについてはオンライン投票制を考えている。各クラブだけでなくエキジビターにも投票いただける形で出来るよう計画中。ジャッジも減ってきているためスペシャリティリングを入れようと思っている。

・2025 年 4 月リジョナルショー

前任 早田ディレクターが任期中に大田区蒲田の Pi0 を仮予約されていたが、開催時期前後から Pi0 の全面改修工事が予定されているとの事。別途確認が必要だが工事の音でショー開催に影響が及ぶかもしれず、他の会場での開催も検討中。進捗がわかり次第クラブ宛メールで案内する。

他にも各クラブからイベントの提案があれば前向きに検討していきたい。例えばジャッジスクールの開催も模索している。

5. 令和 6(2024)年度 予算計画案

<発言者一覧>

田:田村(議長) / 若:若松

田：配布した冊子の最終頁に 2024 年度予算案を記載させていただいた。2022 年度及び 2023 年度の会計資料を参考に予算金額を算出した。予算ではあるがこれに近づけるような運営をしていく。出陳頭数が増えればその分収支に反映されると思う。

若：進行ではなくセクレタリーとしての補足。今期予算におけるクラッキングスクールの計上が 4 万円と非常に低額だが、先程ディレクターからの説明にもあったがオンライン開催であれば会場費等が節約出来るためこの予算金額になる。

リジョン新役員、事業計画、予算計画については決を取る内容ではないので、このまま進行する。

6. クラブからの議案提示

<SOMETHING HEARTS CF>

リジョナルショーでのマイケージ手数料徴収の徹底について

<JAPAN CF>

リジョナルショーのエントリーフィー値下げについて

※途中議案が混同したため、上記議案を纏めました。

<発言者一覧>

田:田村(議長) / 稲:稲富 / 永:永山 / 北:北尾 / 吉:吉田 / 河:河野 / 若:若松

若：リジョナルショーでの持込みマイケージ手数料徴収の徹底についてということで議案が提示されている。本来マイケージはオプション料金が発生する。リジョナルショーでということ限定されているが、エントリー時はシングルケージ(無料)で申し込んでいながら、当日突然マイケージを持参し知らん顔して使っている人がいる。マイケージオプション料金を支払っている人もいるのにそれは不公平じゃないか、という提案。

稲：出陳者はみな同じ条件であるはずなのに不公平が生じている。出来ればクラブ間も同じであってほしいと思う。エントリー時はwケージで申し込みしたが当日マイwケージへ変更可というクラブもあれば、ケージ持参してくれれば準備が楽になるのでマイwは 2000 円、でもwケージは 3000 円というクラブもある。それらは構わないがエントリー時にマイシングルを有料オプションで申し込みしている人がいるにも関わらず、シングル(無料)で申し込みした人が当日勝手にマイシングルに変えてオプション料金を払わないみたいな事はやめてほしいと思う。各クラブの人，出陳者の人もみんな同じになってほしい。

若：纏めると、持込みマイケージに対してオプション料金を取る取らないは各クラブが決めればよいけれど徹底してねてことか。

稲：不公平をやめてほしい。『知らなかった』ではなく、ズルい事をする人は意図的にやってるからすごくズルいと思う。

若：こちらについては決をとるような内容ではないが、今会場にいらっしゃる方々はクラブのセクレタリーやディレクタ等、ショーを主催される側の方なので徹底下さい。

永：ルールでは猫 1 頭に対して一つのシングルケージを用意しなければならないと定められている。故に主催クラブはシングルケージを用意する必要がある。ただ出陳者がマイシングルを持ち込むと言われれば、西日本 CC ではオプション料金無料だ。ダブルケージの場合は 4000 円徴収している。マイダブルの場合はケージの組賃を省いて 3000 円徴収。あくまでも場代。ここからは私見だが、中止にはなったが以前神戸で開催予定だったリジョナルショーではケージオプション料金が全て無料になっていて驚いた。その後うちのショーの常連さんのケージがマイシングルからマイダブルになっていたからびっくりした。この人マイダブルケージ持ってたの？って。それな

らなんでうちのショーでそれ使わんの？って。そう考えると、リジョナルショーに関してはケージオプション無料にしてあげてもいいのではないか。

若：リジョナルショーは少しでも出陳者に還元したいみたいなどころがあり、出陳料を安くしたりケージオプションを無料にするの施策をする。そうするとリジョナルショーの前後に開催予定のクラブから「やめて」という声も出る。

永：逆に言えば、西日本 CC では出陳者全員が、オプション料金無料のマイシングルを持ってきてくれたら設営の手間が省ける。マイダブルは 3000 円徴収するけれどそれでも手間が省ける。

若：いずれにしてもそこは各クラブの裁量で。ただしケージオプションを有料にする場合は必ず各クラブリジョンも含め必ず徹底して徴収する事。

田：チャンピオンシップに上がっている猫を中に仕切りなしに入れてはいけない事を認識しているか。ちょっと不安になった。

稲：ジャパンシェーデッドはどうしてもリジョナルショーの日程近くでキャットショーを開催する事が多く、リジョナルショーの出陳料が安いとかオプション無料とかされてしまうと差が出てしまうため、そのあたりは一般のクラブと横並びにしてほしいと言っていた。事実出陳者には出陳料が安いところを狙って出す人もいる。だから「今年はリジョンは 1 万円でやらないの」とか「どうして今年はオプション無料じゃないの」とかいう人もいる。

若：そこは市場納得主義みたいなもので、どこのクラブも一律この金額でやれというのはおかしな話。

北：それも含めて出陳者が選ぶ。

田：リジョンは還元するべきみたいな事を皆さんよくおっしゃる。私としてはリジョナルショーのケージオプション料金をどうするべきか、各クラブの皆さんの決で判断したい。

稲：個人的な意見として、出陳料減額とかオプション料金無料以外のところでの還元を検討してみても。例えば超豪華弁当とか(業者協賛品とは別の)お土産とか。昔は絶対お土産ありましたよね。それが今はなくなった。

田：今稲富さんからいただいた意見に対して回答させていただくと、ロイヤルカナン主催ジャパンキャットショーについては会場費の負担がリジョンには無い。それならばお弁当を外部ケータリングを手配したい。ただ会場のサンシャイン側から外部ケータリング利用の場合手数料 10% 徴収と言われている。出陳者に対してそういう還元でいいという認識で大丈夫か。

稲：個人的には「あそこのショーへ行くと良いものが食べられて楽しいよね」とか。キャットショーへの出陳に関する費用、出陳料やオプション料金についてはほぼ一律じゃないと不公平と思う。

福：リジョナルショーは人をたくさん集めた方が良いという考え方がある事、エキジビターへ還元する場であるべきだという事。TICA の方も言っていたが、1DAY でチャンピオンのタイトルが取れるということで、出陳料が安いショー、リジョナルショーを狙って来るパターンが多かった。出陳者にしてみるとリジョナルショーは安くして欲しいということをおっしゃる方が多い。エキジビターへの還元についても議題が出ているが、確かにリジョナルショー前後で開催するクラブの妨害になるという考えかたもあると思う。2022 年 11 月のクラブ会議のときに小島さんから意見があり、私はエキジビターへ還元したらどうだという議題を出したときにそういう反論が出たが、前後のクラブへの影響を考えたとしてもリジョナルショーはやはり安くして、たくさん出陳を集めた方がよろしいのでは。リジョナルショーの頭数が少ないのはすごく寂しいという気がする。これは個人的な意見。

吉：前後のクラブが煽りを受けるのはわかりますし聞いてもいる。ただ誰のためのキャットショーなのかというところで考えていかなければならないのでは。リジョナルショーはリジョンが行うものだから、そこはやっぱり特別な考えで。昔まだ 2Day 開催の頃、一般クラブの出陳料は 15000-

18000 円位だったが、リジョナルショーの出陳料は 1 万円だった。「リジョナルショーだから安いよね」とみんながワーと集まる。さっき福本さんがおっしゃったようにやっぱりそこに人が集まって「ワーお祭りだ」みたいなノリでキャットショーが盛大になってくるような、そういった盛り上げかたも必要だと思う。

福：最近(アワードを)走っている方が少なくなっているという現状があるので、走っていれば出陳料が高くても安くても必ず出るという原則はあると思う。魅力的にして走っている人を増やしたというのがここ少なくなってきた。このところの目的ではないかと思う。

若：全体的に出陳頭数が少なくなってきたのは事実。昔は 180 頭とか 200 頭越えとか平気であったが最近はなかなかそうはいかない。

田：1Day の場合大凡の出陳料は、リジョナルショーで 10000 円、オプション 3000 円。一般クラブは 12000 円から 18000 円だと思う。もちろん皆さんへ還元したいのですが、還元するためにはそれなりの資金が必要になる。ロイヤルカナンがメインスポンサーであるのは重々理解はしているが、セクレタリとも協議しながら新たなスポンサーを増やす事も考えている。

河：リジョナルショーの開催の目的を明確にするべきだと思う。私見だが今までは大きくて楽しいショーをやって CFA ジャパンを盛り上げよう、そういうところが主眼であったと思うしそれはそれで正しいと思う。でも今日本だけでなく CFA 全体で出陳頭数が明らかに減っている。結局ニューカマーが入ってこない問題があって、ディレクターもおっしゃっていたがスポンサーもつけて派手なリジョナルショーをやり、それをスポンサーに見せ一般人の入場者を増やす。一般入場者が来てもリジョナルショーがショボかったらこの世界に入っていこうとは思わない。クラブ主催のショーでも一般の入場者、潜在的なニューカマーを誘引するのは重要だがなかなか組織的にはできていない。その先鞭をリジョンにつけていただき、そのノウハウを確立して各クラブに広めていくという事が今後 CFA ジャパンを盛り上げていく上で必要な事では。リジョナルショーの開催主旨にそういう理由も加えた上で、安いのは安いのでいいのではないか。うちのクラブの場合 11 月であればジャパンキャットショーとぶつかって酷い目にあうが、それはそれでしょうがないと思う。

田：ロイヤルカナン主催のジャパンキャットショーについて開催年によって開催週が変わるのは困ると私も思っている。トラディショナルデイをとっているクラブもあるなか、ロイヤルカナンのこの日しか会場が取れないからといってその日程で組まれてしまうのは問題であり、その点については私からロイヤルカナンへ決めた週に必ず開催して欲しいという事を提案する。また、今回ロイヤルカナン側のジャパンキャットショー担当が若い女性の方お二人に変わり、エキジビターを増やそう、色々と盛り上げようと様々な提案をいただいている。一般見学者が多いなか、エキジビターへ迷惑がかからないよう、例えば昔のインターナショナルショーのように審査ケージの裏側から猫を入れるようにする等の施策を考えている。とはいえ「期待外れだった」となるとショックなので期待してくださいとは言えないが、エキジビター側の目線で且つ各クラブの意見を取り入れながら前向きに検討していく。エキジビターを増やす事は喫緊の課題であると同時に、ジャッジとクラークも減少している問題があるので、出来る事は何でもやっていかなければならぬのでご理解願う。

稲：先程 JAPAN CF から盛り上げるために安くしようという話があったが、昔はリジョナルショーが年に 1 回だったからそれが出来た。年に 3 回も開催されてしまうと、本当にそれでいいの？と思うし、例えばロイヤルカナンから会場費が補填されている時とそれ以外の時のように変えてもいいのでは？リジョン主催のショーの場合、クラブ主催のショーと同様、リジョン自ら会場費を負担するわけであり、クラブ主催のショー同様会場費も負担しながらリジョナルショーだから色々還元しろと言われてもそうもいかない場合もある。年 1 回開催と年 3 回開催とではものすごい違いがあるというのは忘れてはいけないと思う。

田：私がディレクターとして今後どうしていくかということ考えた時、年 3 回のリジョナルシ

ヨー開催は多いなと思っている。出来れば1月の開催を止め、11月のロイヤルカナン主催ジャパンキャットショーと4月のリジョナルショーという形にしたい。もちろんロイヤルカナン主催ジャパンキャットショーが継続される事が前提。ロイヤルカナンから主催辞退の話があった場合は改めてリジョナルショーを3回に戻すのは有りだけれど、現状のまま年3回、しかも11月のジャパンキャットショーが終了してすぐに1月のリジョナルショー開催というのは正直きつい。しかしながら2025年1月の会場は既におさえているのでこれは開催する。いずれにしてもこれらの事は年に1回のクラブミーティングだけでは到底決められないのでオンラインクラブミーティングで決議を取れるような形でやっていきたい。今回2022年度、2023年度の会計が承認されたので、今後オンラインミーティングは前向きなものになっていくと思う。もっと違う事に対して有意義なものにしていきたい。今回43クラブが集まっているので、例えば2026年1月のリジョナルショー開催是非についてこの場ででも決議は取れる。

河：近年明らかにショーの数がすごく減っている。その点も見極めた上で判断した方がいいと思うので、現時点での決議は時期尚早。今後を見極めた上でリジョンが3回やる必要があるのか2回でいいのか。

田：私事で恐縮ですが11月24日にジャパンキャットショーが開催されるので、例年12月に開催していた私のクラブのショーは開催出来ない。

河：代わりにやってくれるクラブを探すのはどうか。

稲：そもそもリジョナルショーが1月に開催されるため、2つのクラブが同月のショー開催を止めたり他の月へ変更した事もあった。リジョナルショーが無ければ他のクラブが開催していた。

若：リジョナルショー開催是非についてはこの場で決めるのではなく別途議論とする。

若：JAPAN CFからの提案については、リジョナルショーのエントリーフィーをもっと下げてもいいんじゃないかという事でよいか。

吉：先程SOMETHINGさんから出たように、毎回安くする必要もないと思う。開催する中で1回でも目玉的なショーがあったらいいんじゃないか。2回3回もしくは全てのショーでというのは語弊がある。

若：いずれにしても出陳料についても検討の余地があるということ。これもこの場で決められないので別途議論という形とする。

<TakarazukaCF / DelightCF>

2022/2023 各年度の会計報告について

※会計報告時に回答済のため省略

<IndependentCC>

会計業務の進め方について

<発言者一覧>

田:田村(議長) / 福:福本

福：会計は役員として大変な役目なので、外注するなり会計士に助けていただくなりしてもいいかと思う。この1年の流れを踏まえても今期の会計が「今まで通り」というのであればそれで構わないが、会計士に委託費を支払ってでも助けて欲しいのであればそれも有りだと思う。会計年度冒頭から会計士と相談しながらやっていくのといかないのでは、期末の会計報告時に顕著な差が出ると思う。今期の会計及びディレクタである田村さんのご意見を伺いたい。

田：今回会計の役割を分割した理由がそれで、単身現金管理をしつつ出納管理もしていた前任 北尾さんの苦勞を鑑みれば明らかに無理があったのは明らか。リジョンスタッフ紹介で申し上げたが、外注していたウェブサイト運用を内部運用に変えた事で、従来発生していた外注費を会計ソフト利用料に転嫁出来る。現金管理とは別に出納管理のスタッフも設けた。現金管理は非常に大変な任務なのできちんと縦割りをした上で会計業務を進めていく。また外部監査ではなく内部監査に切り替えたが、来年7月のクラブミーティング席上で提出する年次会計報告については会計士にチェックしていただく。リジョン自体税金は収めておらず今後「法人化してください」「こんなにお金儲かってますよね」と言われるかもしれない事も踏まえながら進めていかなければならない。会計担当者が無理をしない、辛いなら辛いと正直に言える環境を作っていきたい。

福：大変であれば謝金の支払いがあつていいと思う。

田：いいご意見だと思います。とはいえ今までの会計担当者は、本職がありながらも全てボランティアという形でやってきている。以前は無かったのにこれからは謝金が出るのかという話にもなる。ただ謝金だけではなく係る経費についても今後は都度クラブと相談し、必要であれば決をとった上で進めていきたい。

<TakarazukaCF / DelightCF / Royal Allbreed CC>

議決権を伴うオンラインクラブミーティングの開催について 及び 承認可否

<IndependentCC>

リジョン規約の改正について

<発言者一覧>

田:田村(議長) / 福:福本 / 早:早田 / 河:河野 / 若:若松

若：オンラインクラブミーティングに議決権をもたせてはどうかという提案。その上でジャパンリジョン規約を時代に合わせて改正をしていく。現行の規約に則ると、リジョン規約改定をするには年に1度皆さんが集まって議決を取る必要がある。規約改正をするにも規約そのものが足かせになっているが、悪い事が出来ないよう歯止めになっている部分もあり一長一短。目的は違えど既に月に1度のオンライン会議を1年間実施した実績もある。しかしながらそれは議決権の無い単なるディスカッションだった。それならばオンライン会議そのものに議決権を付与したらどうかという提案。

田：オンライン会議について、多くの国が跨がっているヨーロッパ、第9リジョンのディレクタに事前確認を取った。第9リジョンはZoomによるオンライン会議を開催している。ただヨーロッパでは日本のように個人で複数のクラブを所有しているケースが少ないのでオンライン開催出来ているという事もある。しかしながらオンライン会議の招集はディレクタ判断で行いクラブの承認を得た上で開催される。今回この議案をいただいたので、この場で決議されれば今後はオンライン会議を開催したい。

若：進行役ではあるが提案クラブ代表として意見する。現行のリジョン規約において、クラブミーティング開催条件として案内状へ開催場所を明記しなければならないとは書かれていない。例えば一般企業において『株主総会を開催する』という場合、案内状に具体的な開催場所を必ず明記しなければならないと規約に記載されている事が一般的。しかしながらリジョン規約にはそれが無い。裏を返すと現行規約の範疇内でも議決権を伴うオンラインクラブミーティングが開催出来るという事であり、そのためのリジョン規約改定も不要。しかしながら現行規約には全クラブの半数以上の出席が必要という事は明記されているので、今後オンラインクラブミーティングでもそれを踏襲するか、複数クラブをもっている方に対する行使可能な議決数の制限等、このあたりは別途検討が必要だとは思う。ただ、オンラインクラブミーティングに議決権を持たせるか否

かはこの場で決議いただきたい。

<議決可否>

オンラインクラブミーティングに議決権をもたせる事への決をとります。満場一致で承認されました。

早：議決権を持たせるにはある程度クラブの協力が必要だと思う。オンライン会議がこれから先どういう流れになるかはわからないが、仕事等で参加出来ない方もいるかもしれないので、公平性を考慮すれば郵送でイエスノーを送っても採決が取れる事も考えてみてはどうか。

若：近年の株主総会では、実際会場へ集まる方とオンラインで参加される方と同時に開催するハイブリッド開催が一般的。また『議決権の行使』というところで、予め議案内容を各クラブに郵送ないし電子メールで送った上で「この議案に対しこの回答で議決行使する」というものを期日迄に返信していただく。選挙の期日前投票のような仕組みを導入するのも近年の主流。7月のクラブミーティングについては会場へ招集するのが通例だったが、会場周辺に居住する方は気軽に参加出来ても、遠方からの参加は交通費も自費負担となる。距離的な不平等を取り除くためにもオンライン開催、ハイブリッド開催、議決権行使は考えていきたい。

早：オンライン開催の案内状を郵送する際に各議案を明記した上で、出席出来ない場合は議決権行使として事前回答をいただく。それならば一番スムーズにいくと思う。

福：以前オンライン会議の案内を送ってもメール送信出来ない、エラーになる人もいと伺った。幽霊クラブみたいな、クラブとして登録はされているが活動していない、会議にも参加しない。そういうクラブの扱いをどうするか、票数として扱うのかという問題もある。クラブを複数所有していても行使出来る議決数は2票までというのはそのままにでもいいかと思うが、問題は全てにおいて無関心なクラブ。何のためにクラブを持っているのか皆目わからない。

田：個人としては私も同意見。ただクラブとしてCFAに維持費用を払っている以上無視はできない。ミーティングへ参加する旨送り続けるなり参加をお願いするしかない。せめて「棄権する」という意思表示はしてもらおう。

福：「カウントしないでいい」という意思表示が有効になるのであれば、真っ先にそれをやらなければならないと思う。

若：昨年は記載が無かったが、今回のクラブミーティング参加申込用紙に意思表示として「棄権」項目を追加している。「棄権」は欠席では無く、全ての議案について棄権するという意思表示なのでクラブミーティングへの出席数には含まれる。今後のオンラインミーティングにおいても参加・欠席とは別に「棄権」という項目は用意したい。

福：それで議決のときにはそのやり方でできるということか。

若：「棄権」も有効数になる。

河：CFAのコンスティチューション、バイローいずれかに書かれていたと思うが、CFAのクラブには有効なメールアドレスの登録が条件になっていたと思う。お金を払っていても何しようが、メールが届かないクラブはその条件から外れる、クラブとして認められない。

田：メールは届いている。ただ何にも参加しない”That’s all”。

河：それはクラブ側の判断だが、送信エラーになるクラブが実際ある。

若：2つ程送信不可なクラブがある。ただ、CFA本部へ届け出ているメールアドレスと、リジョンが把握しているメールアドレスが異なるのかもしれない。

河：それはCFAジャパンから本部へメールアドレスの有効性を確認を取り、CFA本部側から当該クラブへ有効なメールアドレスの提出を促す。それに対してもレスがないなら抹消では。

田：年1回のメンバーシップリスト提出は、セクレタリーの有効なメールアドレスから送らなけ

ればならないという事になっている。メンバーシップリストの提出がある＝メールアドレスも有効であるという判断だと思う。

福：FAX 送信しているクラブもある。後藤さんとか。

田：FAX 番号が記載されるからなんですかね。

稲：私は痛い思いをしている。メールアドレス変更を申請したが変わっていなかった。メールアドレスの管理は厳しいのに FAX なら誰が送信しても OK。

田：そこも折々決めていきたい。ディレクタとして改めて全てのクラブと連絡を取る。オンラインミーティングについては今後 Teams というコミュニケーションツールを使う。投票機能等も網羅しているので今後はそちらを使う。

若：今までのオンラインミーティングでは Zoom というアプリケーションを使用していたが、利用料がドル建ての支払いであり高額なため、今後はディレクタからも話のあった別のツールで実施する。利用方法等は別途クラブ宛に案内させていただく。

福：ハイブリッド開催について、例えばこういうミーティングやアワード開催時のクラブミーティングもハイブリッド開催は可能か。

若：来年アワード時のクラブミーティングでも開催可能。実際会場へ来られる方もいれば、遠方なので実際の参加は無理だがオンラインなら参加したいという方もいる。開催については実際の会場側にノートパソコンを持ち込むだけで開催可能。

田：但しオンラインでの参加は顔出し必須。

若：議題は全て完了した。他にご意見があれば。

田：最後に一点。トラディショナルデイの扱いについて、CFA 本部のショースケジュールに日本のトラディショナルデイが反映されていないとの事で、ショースケジューラーと連携しながら CFA 本部へ日本国内のトラディショナルデイの再申請をする。現状国内でのトラディショナルデイ取得は西日本 CC、神奈川のいくつかのクラブ、THE DANCING CC のみ。これらは連携して再取得する。もし漏れているクラブがあればショースケジューラーに連絡いただき、併せて CFA 本部のショースケジュールにも反映させていく。

若：ウェブサイトについて。1 年程前、オンラインミーティングの提案で、ウェブサイトに掲載されている各リストに記述されているメールアドレスを消して欲しいという要望があった。対応が遅れたがウェブサイトの更新権限を得たので順次変更していく。

若：以上でクラブミーティングを閉会します。ありがとうございました。

田：ありがとうございました。

早：ありがとうございました。